

平成20年度（2008年度）  
事業報告書

自 平成20年4月 1日

至 平成21年3月31日

# 目次

平成 20 年度事業の概要	2
I アカデミー教育事業	3
II 演奏会事業	7
III 音楽普及事業	9
役員会の開催状況	10

## 平成 20 年度事業の概要

---

(財) PMF 組織委員会は、若手音楽家に対する世界最高水準のオーケストラ教育を軸にした音楽教育の実施と成果発表、一般への音楽普及等を目的として事業を実施している。

このことを通して次代を担う若手音楽家を育成し、芸術文化の発展向上と世界平和に貢献することを目指している。

1990年にスタートしたPMFは毎年事業内容の充実発展と安定的な事業運営に努めながら回を重ね、平成20年度で19回目を数えた。

19回目のPMFには、世界各国から厳しいオーディションを経た128人の若き音楽家が集い、ウィーン・フィルやベルリン・フィルなど一流の教授陣から高い技術と豊富な経験に基づいた熱心な指導を受けた。

その成果発表としての若者達の演奏は、一流のプロオーケストラに劣らない自信に満ちた完成度の高いものとして多くの人達から評価を得ることができた。

PMFオーケストラを指導する首席指揮者には、2010年からPMFの芸術監督に就任するファビオ・ルイジ氏を、また客演指揮者には準・メルクル、尾高忠明の各氏を迎え、個性的で多彩な音楽を、札幌をはじめ東京、大阪で披露し好評を得た。

また、PMFのホスト・シティ・オーケストラとして札幌交響楽団を迎え、ウェルカム・コンサート、バーンスタイン生誕90年ガラ・コンサートなどで、PMFオーケストラと共演し、熱い演奏を繰り広げた。

北海道洞爺湖サミットの影響により、例年開催してきた大通公園でのコンサートは実施することができなかったが、PMFアカデミー生及び修了生等は、各々洞爺湖湖上遊覧船、モエレ沼公園ガラスのピラミッド関連イベントに出演し、国際教育音楽祭のPRに貢献した。

この他にも、市内の美術館や学校など様々な場所に出向いて演奏するアウトリーチコンサートを積極的に実施し、気軽にクラシック音楽を楽しめる機会の提供に努めた。

演奏会入場者数も野外コンサートが好天に恵まれたことにより、4万4千人を超える観客数となった。

今年2009年、PMFは20回という大きな節目の年を迎える。

今後さらに一層PMFが多くの人々に支持される音楽祭となるよう充実を図っていきたい。

# I アカデミー教育事業

---

世界各国から選抜した若手音楽家に対する世界最高水準のオーケストラ教育を軸にした教育の実施及びその成果の発表を行った。

## 1 オーケストラ・コース ～ 合格者 112名

アメリカ、ヨーロッパ、アジア及び日本の諸都市でのライブオーディションとレコーディングオーディションを実施し選考した。

<オーディション開催都市>

ケルン、ベルリン、ロンドン、ウィーン、トロント、ボストン、フィラデルフィア、ニューヨーク、クリーヴランド、シカゴ、ロサンゼルス、上海、香港、北京、台北、シンガポール、シドニー、札幌、大阪、東京、の20都市

受験者 1, 272名

〔ライブオーディション受験者数：1, 080名  
レコーディングオーディション受験者数：192名〕

<コースの内容>

- ① マスタークラス（個人レッスン／各楽器約1時間30分～10時間30分）
- ② オーケストラ・リハーサル（オーケストラの練習。特に四つのプログラムを練習）
- ③ 室内楽のリハーサル、コーチング（アカデミー・メンバーに与えられた課題曲をグループごとに練習）

## 2 コンポジション（作曲）・コース ～ 合格者 4名

受験者 28名

<選考対象>

アジアの国々の国籍を有する作曲家を対象とし、提出された作品をレジデント・コンポーザーが譜面審査により選考した。

<コースの内容>

レジデント・コンポーザーによる個人指導、作曲ワークショップなどを行った。

## 3 弦楽四重奏コース ～ 合格者 3グループ（合計12名）

レコーディング・オーディションを実施し、東京クワルテットが選考

した。

受験者 22グループ (88名)

<コースの内容>

- ① レポートリーに対するコーチング (26時間30分) その他自由練習 (5時間30分)
- ② ピクニックコンサートで教授陣と共演する曲のコーチング (13時間)

#### 4 成果の発表

アカデミー生の練習成果は、PMFオーケストラ、PMFアカデミー・アンサンブル、PMF弦楽四重奏コース等の演奏会を開催して発表した。

※ 演奏会回数～PMFオーケストラ7回、PMFアカデミー・アンサンブル7回、PMF弦楽四重奏コース3回、パシフィック・サウンディング (コンポジションコース・メンバーの作品演奏) 1回、ピクニックコンサート1回など。

#### 5 教授陣

- (1) 首席指揮者  
ファビオ・ルイジ
- (2) 客演指揮者  
準・メルクル  
尾高 忠明
- (3) PMF芸術主幹  
ペーター・シュミードル  
(ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席クラリネット奏者／ウィーン国立音楽大学教授)
- (4) レジデント・コンポーザー  
細川 俊夫 (作曲家)
- (5) オーケストラ・コース  
ア PMFウィーン  
ライナー・キュッヒル (ヴァイオリン)  
エックハルト・ザイフェルト (ヴァイオリン)  
ハインリッヒ・コル (ヴィオラ)  
ゲルハルト・イーベラー (チェロ)

アロイス・ポツシュ (コントラバス)  
ヴォルフガング・シュルツ (フルート)  
ハーラルト・ホルト (オーボエ)  
ペーター・シュミードル (クラリネット)  
ハーラルト・ミュラー (ファゴット)  
ラルス・ミヒャエル・ストランスキー (ホルン)  
ハンス=ペーター・シュー (トランペット)  
カール・ヤイトラー (トロンボーン)  
アントン・ミッテルマイヤー (ティンパニ)  
マリア・プリンツ (ピアノ/ウイーン国立音楽大学)

イ PMF ベルリン

ゾルタン・アルマージ (ヴァイオリン)  
アンドレアス・ノイフェルド (ヴァイオリン)  
ウルリッヒ・クネルツァー (ヴィオラ)  
イェンス・ペーター・マインツ (チェロ/ベルリン芸術大学)  
クラウス・シュトール (コントラバス)  
アンドレアス・ブラウ (フルート)  
ドミニク・ヴォレンヴェーバー (オーボエ)  
マンフレート・プライス (クラリネット)  
シュテファン・シュヴァイゲルト (ファゴット)  
シュテファン・ドウ・ルヴァル・イエジエルスキ (ホルン)  
タマシュ・ヴァレンツァイ (トランペット)  
シュテファン・シュルツ (トロンボーン)  
ライナー・ゼーガース (ティンパニ)

ウ PMF インターナショナル・プリンシパルズ

デイヴィッド・チャン (ヴァイオリン)  
スティーヴン・ローズ (ヴァイオリン)  
ダニエル・フォスター (ヴィオラ)  
デスモンド・ホービッグ (チェロ)  
ハロルド・ロビンソン (コントラバス)  
ジェフリー・ケイナー (フルート)  
ユージン・イゾトフ (オーボエ)  
リカルド・モラレス (クラリネット)  
ダニエル・マツカワ (ファゴット)  
ウィリアム・カバレロ (ホルン)  
マーク J. イノウエ (トランペット)

ニッツァン・ハロズ (トロンボーン)  
デイヴィッド・ハーバート (ティンパニ)  
早川 りさこ (ハープ)

エ 指揮者

ルイス・ビアヴァ (フィラデルフィア管弦楽団)  
川瀬 賢太郎 (アシスタント・コンダクター)

(6) 弦楽四重奏コース

東京クワルテット

(7) PMF ピアニスト

赤堀 絵里子  
沢木 良子

## II 演奏会事業

---

開催期間中、教授陣をはじめ世界最高水準の音楽家等による演奏会を開催した。

### 1 演奏団体・ゲストアーティスト等

- (1) 教授陣によるアンサンブルの編成
  - ・ PMF ウィーン  
＜グリーンカ 悲愴三重奏曲ニ短調ほか＞
  - ・ PMF ベルリン  
＜ブルックナー 間奏曲ニ短調WAB. 1 1 3ほか＞
  - ・ PMF インターナショナル・プリンシパルズ  
＜モーツァルト オーボエ四重奏曲へ長調K. 3 7 0ほか＞
- (2) 東京クワルテット  
＜ハイドン 弦楽四重奏曲第75番ト長調「エルデーディ」作品76-1  
ほか＞
- (3) 札幌交響楽団（指揮者 尾高 忠明）  
＜ウォルトン 戴冠式行進曲「王冠」ほか＞
- (4) ゲスト・アーティスト  
宮田 まゆみ（笙）  
＜細川 俊夫 “雲と光” 笙とオーケストラのために＞  
ピエール＝ロラン・エマール（ピアノ）  
原田 節（オンド・マルトノ）  
＜メシアン トゥーランガリラ交響曲＞  
マヌエル・ズリア（フルート）  
＜細川 俊夫 息の歌、バス・フルートのために＞  
アン・アキコ・マイヤース（ヴァイオリン）  
＜バーンスタイン セレナード＞  
小曾根 真（ピアノ）  
＜バーンスタイン 交響曲 第2番「不安の時代」＞  
ヤン・フォークラー（チェロ）  
＜R. シュトラウス 交響詩「ドン・キホーテ」作品35＞

### 2 開催都市等

- (1) 北海道内

札幌市（札幌コンサートホール、札幌芸術の森・野外ステージほか）、室蘭市、  
苫小牧市、旭川市、函館市、奈井江町

(2) 北海道外 東京都、大阪市

(3) 公演数 44公演

(4) 総入場者数 44, 118名（北海道内40, 050名／札幌市内37, 851名）

### 3 PMF20回記念プレ公演

北海道新聞社主催のリッカルド・ムーティ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦  
楽団札幌公演をPMF20回記念プレ公演に位置づけ負担金を拠出した。

開催日 平成20年9月22日

場 所 札幌コンサートホール

曲 目 ロッシーニ：オペラ『セミラーミデ』序曲

ストラヴィンスキー：バレエ音楽『妖精の口づけ』より

チャイコフスキー：交響曲第5番ホ短調作品64

## III 音楽普及事業

---

一般への音楽教育の公開その他の音楽の普及に関する事業として、聴講生プログラム、教育セミナー、青少年のための音楽会などをおこなった。

### 1 聴講生プログラム

中学生以上の一般の方を対象として実施しており、教授陣によるPMFオーケストラへの指導の様子やリハーサル、ゲネプロ（本番前の総練習）の聴講などができるプログラム

対象者 一般（中学生以上）

参加者 延べ75名

### 2 教育セミナー

全国の小・中・高校等の音楽教諭を始め、音楽教育に携わる方を対象とし、小学校での音楽教室や参加アーティストによる音楽講座、演奏会鑑賞などを実施。

対象者 学校教師、音楽教室の講師、その他音楽活動に携わる者

参加者 23名

### 3 PMF 青少年のための音楽会

小中学生とその保護者を対象としており、青少年が本物の音楽に触れる機会を提供するための演奏会

出演 札幌交響楽団、尾高 忠明（指揮）、谷本聡子（ピアノ）、大川直美（ピアノ）

### 4 会員の状況

PMFフレンズ 平成20年度 980名（平成21年3月25日現在）

## 役員会の開催状況

### (1) 理事会

開催年月日	議事事項	結果
平成20年6月26日	1 平成19年度事業報告	承認
	2 平成19年度収支決算報告 及び監査報告	承認
	3 評議員の選任	決定
	4 芸術監督の就任	決定
平成21年3月27日	1 平成21年度事業計画（案）	承認
	2 平成21年度収支予算（案）	承認
	3 新公益法人移行に伴う最初の評議員の選任方法について	決定

### (2) 評議員会

開催年月日	議事事項	結果
平成20年6月20日	1 平成19年度事業報告	同意
	2 平成19年度収支決算報告 及び監査報告	同意
	3 芸術監督の就任	同意
平成21年3月23日	1 平成21年度事業計画（案）	同意
	2 平成21年度収支予算（案）	同意
	3 新公益法人移行に伴う最初の評議員の選任方法について	同意

※ 平成20年度は重要な契約に関する事項は該当ありません。